

公立刈田綜合病院について

高橋 鈍 斎



〔質問〕6月定例会で、

白石市外二町組合を解散せず公設民営化を検討するよう組合管理者に求める意見書が可決された。採決は可否同数、議長裁決で決した。

組合維持による病院存続での一致について、どう受け止めるか伺う。

〔答弁〕〔市長〕市議会の意見として一定の方向性が出されたもので重く受け止めている。

〔質問〕これまで1市2町では、組合解散の形で議論されてきた。

市長は、市議会から提出された意見書に対し、どう対応するのか。

〔答弁〕〔市長〕これまで市議会として全員協議会や研究会等で、さま

ざまな角度から多くの時間を費やし議論されたもので、その二つの方向性であることから重く受け止めている。

〔質問〕医師紹介業務について、市は(株)ナショナルトラストと1千100万円で契約。市の予算で市が医師紹介の役割を担い、病院で採用を行なったと聞く。紹介と採用の実績を伺う。

〔答弁〕〔市長〕医師紹介業務で市から病院に紹介した5名の医師が採用された。

〔質問〕医師紹介業務で採用した医師が退職した場合、この業務を紹介した医師補充がされたのか。

〔答弁〕〔市長〕医師補充は、契約に基づき契約事業者が行なっており、退職後、新たに2名の医師の紹介をいただいた

が、病院としては採用しないとの結論に至ったと聞いている。

〔質問〕契約内容には、採用後、医師が退職することとなった場合、直ちに医師補充に動くこととあるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕契約書の委託料の減額・返還等の事項に、6カ月以内に退職した場合との記載があるが、それには該当せず、しっかりとこの契約は履行されたと認識している。

〔質問〕2名の医師は刈田病院への支援体制調査のためで、医業に従事していないと聞いているが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕先生方には新型コロナウイルススワクチン接種で全面的に協力いただき、十分医療に携わっていただいた。

〔その他の質問〕

◎ベラルーシ新体操ナショナルチームとの交流について

民生委員について

佐藤 龍彦



〔質問〕民生委員とは、一人暮らしの高齢者や障害者、生活困窮者の世帯などを訪問し、住民

の立場で福祉に関する相談に応じ、行政や専門機関につなぐ重要な役割を担う非常勤の地方公務員のことと、市

町村経由で県知事の推薦を受けて厚生労働大臣から委嘱される。

コロナ禍により、民生委員の重要性が増す中、近年は全国的に民生委員のなり手不足も問題となっている。

本市の民生委員協議会の定数と欠員について伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕白石地区については39人、越河地区が8人、斎

川地区6人、大平地区9人、大鷹沢地区8人、白川地区8人、福岡地区20人、小原地区9人、合計で107人となっている。

そのうち、白石地区で1人、斎川地区で1人が欠員となっている。

〔質問〕民生委員の定数を増やす考えはないのか伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕民生委員一人当たりの世帯数は、31世帯から578世帯までと、大きな幅があることは承知している。

本市においても、一部の自治会で世帯数の増加があり、担当の民生委員、自治会からの要望を受け、県に対し配置

人員の見直しを要望したところである。今後、

県の条例が改正されれば、白石地区の鷹巣自治会の配置人員が、現

行の2人から3人になることが予定されている。

それでも民生委員一人当たりの上位基準である280世帯を超える担当地区は7地区あることから、担当する民生委員、推薦していただく自治会の意見を聞きながら、希望に応じて必要な対策を取っていきたいと考えている。

〔質問〕県からの活動費補助金を民生委員本人に全額交付すべきと思うが、いかがか。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕活動費補助金の交付については、民生委員協議会において判断すべきものと認識しているが、

令和4年度より、会費等を除いた金額を、民生委員本人へ交付する予定であると聞いている。

〔その他の質問〕

◎物価高騰による学校給食への影響について

◎本市の教育および教員の労働環境について